

巻頭言

変わるために変えない 変わらないために変える
～よりよい道を進むために問いを立てる～

新潟市教育委員会 教育次長 池田 浩



現在、社会、経済、環境、文化、ICT、そして教育など、あらゆる分野で改革の必要性が高まっています。教育においてもOECDの「Education 2030」や文部科学省の「令和の日本型学校教育の構築を目指して」などに代表されるように、多様化する社会に対して新しい教育の創造が求められています。

今、学校ではシンキングツールを使って自分の考えをまとめ、タブレットを駆使して仲間と協働的な学びを進める子どもたちの姿があります。コミュニティ・スクールで地域の課題について熟議子どもと大人が協働して取り組む姿があります。自らの研修のあり方をキャリアデザインの視点で創造していく教職員の姿があります。このような姿は、数年前までは見られなかった姿です。

このように教育には改革が求められ、すでに改革が加速度的に進行していることは間違いありません。

印象に残っているCMがあります。それは、「すべての人生が素晴らしい」という2分間ほどのCMです。主人公のランナーとナレーションは池松壮亮さん（映画「シン・仮面ライダー」の本郷猛役）。映像は静かなナレーションから始まります。

今日も走り続ける。誰だってランナーだ。時計は止められない。時間は一方向にしか流れない。後戻りできないマラソンコースだ。ライバルと競い合いながら、時の流れという一本道を僕は走り続ける。より速く。一步でも前に。その先に未来があると信じて。必ずゴールはあると信じて。

映像は数百人のランナーを映し出し、ナレーションが流れます。

人生はマラソンだ。

その直後、主人公は走るのを止めて呟きます。

「でも本当にそうか？人生ってそういうものか？」

突然、主人公は全力でダッシュし、マラソンコースを外れます。

違う。人生はマラソンじゃない。誰が決めたコースなんだよ。誰が決めたゴールなんだよ。どこを走ったっていい。どこへ向かったっていい。自分だけの道があるんだ。

ナレーションが叫びます。映像は、その叫びに触発されたかのようにコースを外れ、思い思いの方向に走り出すランナーを映し出します。それぞれのランナーは、大自然の中を走ったり、グラウンドを走ったり、スカイダイビングをしたり、オートバイに乗ったり、雪原を走ったり、勉強したり、マラソン

コースを外れ自由に行動し始め、再びナレーションが流れます。

自分だけの道？そんなものあるのか？わからない。僕らがまだ出会っていない世界は、とてつもなく広い。そうだ、踏み出すんだ。悩んで、悩んで、最後まで走り抜くんだ。失敗してもいい。寄り道してもいい。誰かと比べなくていい。道は一つじゃない。ゴールは一つじゃない。それは人間の数だけあるんだ。

映像はマラソンコースを外れずゴールに到着したランナーも映し出し、静かにナレーションが流れます。

すべての人生が、素晴らしい

最後に主人公が笑顔で振り返ります。

「誰だ？人生をマラソンって言ったのは？」

CMに登場するランナーたちは、走るコースを変え、自分の進むべき道を考え始めました。でも目指すゴールに向かって走り続ける姿勢は変えていません。自分らしく走り（生き）続けるためにコースや方法を変え、しかしコースが変わっても、走り（生き）続ける姿勢は変えないのです。最後までコースを変えないランナーのゴールも印象に残ります。

時代が変革を求めても、どんなに環境が変わっても、誰にも絶対に変えたくないことや変えてはいけないことがあるのではないのでしょうか。一方で、時代や環境の変化に対応して、変えていかなければならないことがあることを誰もが理解しているはずです。

「あなたにとって、変わるために変えない、変わらないために変えることは何ですか？」

変革の時代だからこそ、私はこのような問いが必要だと考えます。答えは一つではなく、その時々で変わり続ける。しかし、大切なのはよりよい道を進むために自ら問いを立てることではないのでしょうか。

仕事で壁にぶつかると、私はこの映像を見たくなくなります（今でも動画サイトで視聴可能です）。そして、目の前の壁を越えるために変えなければならないこと、変えてはいけないことは何かを自らに問い、考えます。

よりよい道を進むために必要なのは、簡単に出てくる答えではなく自ら問いを立てることであり、問い続ける姿勢です。読者のみなさんは、変革の時代である今、どんな問いを立てますか？

研修 NOW!

初任者研修 「体験研修」

7月31日（月）に初任者研修の「体験研修」を実施しました。今年度の「体験研修」の内容は「にいがた2km巡回研修」です。先生方自身が新潟の魅力を発見し、地域を知り、地域を語ることができる教員になることをねらった研修です。当日は、にいがた2km周辺のエリアをグループで探策し、採用同期の仲間との絆を深めるとともに、歴史、文化、食などの新潟の街の魅力に触れてきました。

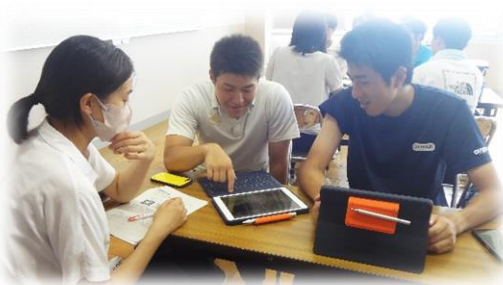


出発前には井崎教育長から教員として大切なことをご講義いただいたり、励ましの言葉をいただいたりしました。



初任者研修を共にする仲間と一緒に一日体験できたことが一番の収穫です。とても楽しく、仲が深まるような体験になりました。「この仲間と初任者研修を頑張っていこう」と心の底から思いました。この体験研修を行うにあたって、支えてくださったすべての方々に感謝したいです。ありがとうございました。

中野小屋中学校・大滝 泰樹 教諭



探索後は、各グループで一日の学びや気づきをまとめました。↑

研修 NOW!

新設講座等 紹介します!!

New

プロに学ぶ、子どもの力を伸ばす学校掃除の基礎講座



株式会社ダスキンから講師をお招きし、学校掃除の基本的な知識と学校掃除の教育的効果について実践的に学びました。



《受講者の声》

今回の研修を受けて、何のために清掃をやるのか、子どもたちに清掃を通してどんな力を身に付けさせたいのかを考える機会になりました。校内で情報共有して、清掃への取組を一層強化したいと思います。

Renewal

数学、はじめの一步

学習指導要領で求められる資質・能力の育成や教材研究・授業づくりで大切な視点などを学びました。後半はグループで1つの授業プランを作成しました。



《受講者の声》

資質・能力の育成のためにどのような授業づくりをすればよいのかを具体的に学ぶことができました。学んだことを活用して、うまくいったと感じる授業を増やしていけるよう教材研究を行いたいです。

New

高校進路指導、はじめの一步

高等学校における進路指導について、講義・演習を通して、進路指導の実際や実践力を高めるための具体的な方法を学びました。



《受講者の声》

実際の事例を通してグループの仲間と話し合っって意見が言え、充実していました。ワークショップと講義がセットになっていて大変有意義でした。

New

保健体育 授業づくり講座(保健領域・保健分野)

保健授業に焦点を当てた授業づくり講座です。現代的な健康課題等を取り上げた単元・授業づくりや授業に活かせる実践的なスキルについて学びました。



《受講者の声》

子どもたちが健康を意識して生活していくことは、生涯にわたって大切なことだと改めて実感しました。実際の授業の様子を見せていただいたり、他の受講者の皆さんの実践を知ることができたりして、勉強になりました。

New

国際理解教育の基礎的理解

国際理解教育の意義や進め方についてグローバルな視点から考えました。講師の実践を基に、国際理解を進める授業づくりについて学びました。



《受講者の声》

この講座を受講した理由は、自分自身の視野が広がるようなお話を聞けるだろうという期待でした。講師の先生方のお話や実践例は、期待通りの内容でした。

学年経営の理論と実践(大学院連携講座)

初めての学年主任などミドルリーダーを対象に、組織マネジメントの理論や人材育成について、実践発表、演習を通じて理解を深めました。



《受講者の声》

今年度から学年主任になり、学年主任の業務は何なのか、わからないままでした。学年経営を意識して、メンバーのためになるように、目的を共有したり役割を与えたりしたいです。そして、結果ではなく過程に対する評価と感謝を忘れずに、学年経営をしたいです。

総教 News

マスコットキャラクターの「まな」です

総合教育センターのマスコットキャラクターの「まな」です。講座のスライドや要項の中で登場しているので、すでにご覧になられた先生方もいると思います。研修で疲れた先生方に「癒し」を与えたり、先生方にとってセンターがより身近な存在になったりと、「まな」が新潟市の先生方とセンターとをつなぐ1つの架け橋になることを期待しています。親しみをもって、かわいがってもらえると嬉しいです。よろしくお願いします。

名前：まな

植物の妖精です！

知的好奇心いっぱい！



エチゴルリソウの髪飾りと
めがねがチャームポイント

